

## JIS A 4422（温水洗浄便座）が改正されました。

※原案作成団体：一般財団法人 日本規格協会  
一般社団法人 日本レストルーム工業会

### 【趣旨】

昨今、日本の環境負荷低減及び省エネ技術を取り入れた温水洗浄便座の市場での普及が進んでいます。加えて、旧規格に規定されている性能試験方法をベースとして、日本から提案した国際規格である IEC 62947（Electrically operated spray seat for household and similar use - Methods for measuring the performance - General test methods of spray seats）が 2022 年に発行され、これを基礎とした温水洗浄便座試験方法の JIS A 4424 が新たに制定されます（参考：同日リリース「JIS A 4424（温水洗浄便座-性能測定方法）が新規制定されました」）。

以上のことから、このたび、日本が誇る省エネ技術を適正に評価するとともに、性能試験の統一化・合理化を図るために、JIS A 4424 に規定されている当該試験方法についてこれを引用し、最近の生産、使用実態などを反映するため、JIS A 4422 が改正されました。

この改正により、国際貿易の円滑化、健全な市場形成及び日本製品の海外競争力の向上に資することが期待されます。

### 【主な改正点】

主な改正点は、次のとおり。

- ① 種類(箇条 4)について、洗浄水加温方式による区分の瞬間方式において、省エネ性能の適切な評価のため、節湯形か否かによるクラス分けを追加するほか、便座加温方式による区分を追加する。
- ② 性能について、次の点等を改める。
  - ・洗浄性能について、試験方法 JIS に対して現行規格で規定のない性能項目を追加し、洗浄水温度、おしり洗浄力の規定値を改める(箇条 6.1)。
  - ・暖房便座性能について、便座加温方式の区分の追加に伴い、区分ごとの規定値を定める(箇条 6.3)。
  - ・逆流防止性能及び負圧破壊性能について、各要求事項を明確化するほか、負圧破壊性能については、関係省令との整合を図るよう改める(箇条 6.6)。
- ③ 構造について、水道直結給水方式の水を取り入れる給水用具に求められる品質の明確化のために、耐圧性能、水撃限界性能、逆流防止性能、負圧破壊性能への適合によって品質を担保するよう、規定を修正する等を行う(箇条 7.2 等)。
- ④ 材料について、材料選択、設計の自由度確保のために、材料に関する JIS の引用を削除する(箇条 8)。
- ⑤ 試験方法について、試験方法 JIS を引用するよう改める(箇条 9)。
- ⑥ その他、生産実態、使用実態等を踏まえ、所要の改正を行う(箇条 12~14 等)。

## 【JIS A 4422(温水洗浄便座)における、主な改正点(一例)】

### ■「洗浄用水加熱方式」のクラス分け追加

使用時に洗浄水を加熱する瞬間方式において、より少ない湯量で快適に洗浄できる節湯洗浄技術(節湯形)の我が国での普及が進んだことを受け、製品の省エネ性能を適切に評価するために、洗浄用水加熱方式による区分のうち、瞬間方式において、節湯形か否かによるクラス分けを追加しました。

区分	区分内容	
洗浄水貯湯方式	温水発生装置の内蔵タンク内で洗浄水を加熱し、保温貯湯するもの	
洗浄水瞬間方式	I形	温水発生装置によって、使用時に洗浄水を加熱するもので、 <b>6.1.9</b> (節湯形性能) に適合しないもの
	II形	温水発生装置によって、使用時に洗浄水を加熱するもので、 <b>6.1.9</b> (節湯形性能) に適合するもの

※上記 図の使用については、一般財団法人 日本規格協会の許可を得て、JIS 規格内容より引用掲載しております。(引用元: JIS A 4422(2024) 表 3)

節湯形性能の規定値については、“おしり洗浄力”の品質を担保するとともに、使用実態に即した所定の“洗浄流量”以下であることを規定しました。

### ■「便座加熱方式」の区分追加

環境負荷低減・省エネへの取り組みとして、通常は便座表面を低い温度で待機して、人が使うことを検知したときに短時間に温める省エネ便座が開発されたことを受け、製品の区分を明確にするために、便座加熱方式による区分を追加しました。



※画像はイメージです。

区分	区分内容
便座保温方式	便座表面をあらかじめ加熱し、保温するもの
便座瞬間方式	便座表面を最高で設定した温度よりも8℃以上低い温度で待機して、人が使うことを検知したときに短時間に温めるもの

※上記 図の使用については、一般財団法人 日本規格協会の許可を得て、JIS 規格内容より引用掲載しております。(引用元: JIS A 4422(2024) 表 4)

### ■トイレ操作系ピクトグラムの追加

便器・温水洗浄便座に関連する図記号(ピクトグラム)が、2018年1月にISO 7000(Graphical symbols for use on equipment - Registered symbols)に、同年12月にJIS S 0103(消費者用図記号)に規定されたことに伴い、操作パネルの図記号の普及を受け、操作表示の規定として操作パネルの図記号(ピクトグラム)は JIS S 0103 によることを新たに規定しました。

番号	6.2.3	6.2.4	6.2.5	6.2.6
名称	便器洗浄(大)	便器洗浄(小)	おしり洗浄	ビデ洗浄
図記号				
番号	6.2.7	6.2.8	6.2.9	
名称	乾燥	便ふた開閉	便座開閉	
図記号				

## ■一般社団法人 日本レストルーム工業会について

(一社)日本レストルーム工業会は衛生器具(大便器や小便器)、温水洗浄便座などの製品を扱うトイレ設備のメーカーで構成されています。レストルーム業界の持続的な発展を通じて、世界中の人たちの生活文化の向上に貢献するという理念のもと、世界中の人たちに、安全で使いやすく、環境にやさしい快適なレストルーム空間を提供いたします。

### 《加入会社(2024年5月現在、50音順)》

アサヒ衛陶株式会社、SANEI 株式会社、ジャニス工業株式会社、東芝ライフスタイル株式会社、TOTO 株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、株式会社 LIXIL

#### 1. 安心への取り組み <https://www.sanitary-net.com/trend/study.html>

消費者に衛生器具や温水洗浄便座を快適に使用してもらうため、第三者機関による委託研究による医学的知見・エビデンスの取得を図るとともに啓発活動に努めています。

#### 2. 安全への取り組み <https://www.sanitary-net.com/safety/>

長期使用・故障継続使用等による製品事故を防ぐため、当工業会会員の製品事故情報を公表するとともに、これらの事故の分析結果から作成した安全啓発チラシによるお客様への安全啓発活動など様々な製品安全に関する取り組みを行っています。

#### 3. 環境貢献への取り組み <https://www.sanitary-net.com/saving/ecology.html>

省エネ性能に優れた、衛生器具や温水洗浄便座の省エネと上手な選び方・使い方について消費者にご紹介し、省エネ機器としての温水洗浄便座の情報発信と普及に努めています。

#### 4. 国際貢献への取り組み <https://www.sanitary-net.com/utsukushitoilet/>

おもてなしWEBサイト「JAPAN TOILET INFORMATION」を運営し、国内外の利用者に対し日本のトイレ事情(使い方や案内表示等)や最新トイレに関する情報発信を行っています。また、公共トイレにおける訪日外国人の温水洗浄便座の利用支援を目的に、トイレ操作パネルの標準ピクトグラムを開発し、ISO や JIS に登録。各メーカーの新商品等に順次採用しています。さらに、温水洗浄便座、洋風便器、和風便器のシンボルマークについても開発し、JIS へ登録。各々の設置を表す案内用図記号として活用いただけるよう周知活動を行っています。

#### 5. 維持管理への取り組み <https://www.sanitary-net.com/clean/>

衛生器具や温水洗浄便座を快適に使用するための適切な維持管理、使用方法等の啓発活動を行っています。また、(公社)全国ビルメンテナンス協会と連携し、「大便器・温水洗浄便座清掃マニュアル」、「医療機関におけるトイレ清掃マニュアル作成のための手引き」を作成し、全国の清掃事業者や医療機関に向け、周知、啓発活動を推進しています。

＜本件に関する問合せ先＞  
一般社団法人 日本レストルーム工業会 東京事務所  
東京都新宿区市谷田町2-29 こくほ21 5F TEL:03-5206-5493  
ホームページ <https://www.sanitary-net.com/>